言語聴覚士にご相談ください

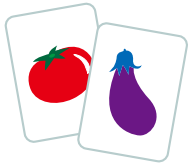
言語聴覚士は、病院や施設などで、次のように様々な援助を行っています。

評価・情報収集

- 会話や必要な検査により失語症の特徴・重症度を判断します。

リハビリテーション

- 言語能力の改善や、日常的なコミュニケーションを獲得するためのリハビリテーションを実施します。
- 残された機能を最大限に活用する工夫を行います。



助言

- ことばのみでなく身振り・写真・絵・文字など様々な方法の中で、コミュニケーションのとりやすい手段をご本人やまわりの方々にご提案します。

心理・社会面の援助

- ご本人やご家族のお話を伺いながら、問題解決に向けて一緒に考えます。
- 他の職種や失語症友の会などと連携を図ります。

コミュニケーションの問題は、しばしば心理的な問題をも引き起こします。ご本人がイライラしたり、落ち込んだりするのも無理はありません。このような時こそ、ご家族や周囲の温かい支えが必要です。

失語症友の会

失語症の方とそのご家族のための友の会が、全国各地で組織されています。石川県内でも、毎月各地でさまざまな活動をしています。

石川県失語症友の会事務局

〒920-8640　金沢市宝町13-1
金沢大学医薬保健研究域
医学系耳鼻咽喉科頭頸部外科学

TEL 076-265-2413

お問い合わせは…

公益社団法人 石川県言語聴覚士会 事務局 総務部

〒926-0816　石川県七尾市藤橋町ア部6番地4
公立能登総合病院
リハビリテーション部内

E-mail　info@st-ishikawa.com
H　P　https://st-ishikawa.com

〈2024年7月発行〉

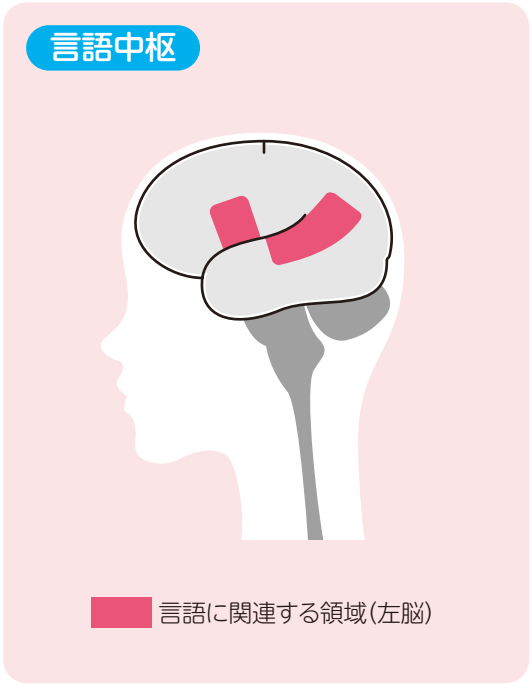
言語聴覚障害シリーズ1

失語症

公益社団法人
Asta 石川県言語聴覚士会

失語症とは

脳卒中や頭部外傷などにより、脳の言語中枢に損傷を受け、それまでに獲得した言語機能（聞く・話す・読む・書く）に問題が生じた状態を「失語症」といいます。お一人ずつ、重症度や目立つ症状が異なります。



唇や舌の麻痺などによる構音（発音）の障害や、心理的な原因による発声の障害、認知症や精神疾患によることばの乱れとは別のものです。

より良い援助のためには、失語症について正しく理解することが大切です。

失語症の主な症状

失語症の方とのコミュニケーション

失語症の方に話しかけるとき

- 短めのことばで、ゆっくりと話しましょう。
- 「はい」「いいえ」で答えられる質問や選択肢から選ぶ質問にしましょう。(ことばの出ない時)
- 話題を急に変えないようにしましょう。
- 身振りやキーワード、写真など、見てわかる手がかりを添えましょう。

失語症の方の話を聞くとき

- ゆっくり、せかさずに待ちましょう。
- 言いたいことを推測しながら、聞きましょう。
- わかったところまで確認しながら聞きましょう。
- よく使うことばや必要な事項をまとめたノートなどを使用しても良いでしょう。
- **50音表は、分かりにくく、役に立ちません。**
- 疲れている時は無理せず、休憩しましょう。